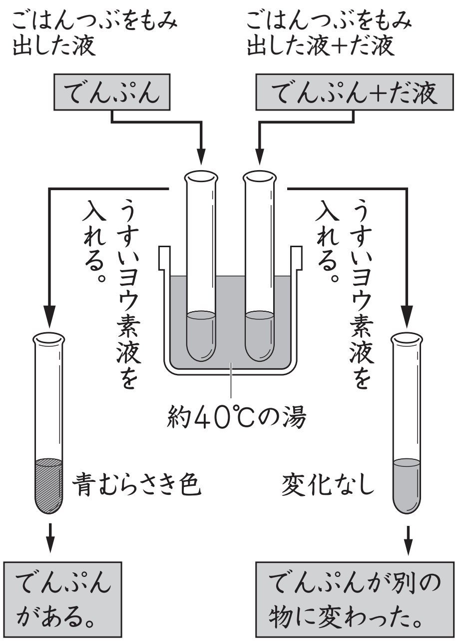
第４講 • 食べ物と養分

1　だ液のはたらき

⑴　**実験**　ごはんつぶを湯にもみ出し，その液を２本の試験管に入れる。一方にだ液を入れ，２本とも人の体温に近い温度（約40℃）の湯につけ，それぞれにうすいヨウ素液を入れて，色の変化を調べる。

❶だ液のはたらきとでんぷんの変化



⑵　**結果**　➡❶

・だ液を入れない液
　青むらさき色になる。
　→でんぷんがある。

・だ液を入れた液
　色が変わらない。
　→だ液によって，でんぷんが別の物に変わった。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

2　消化と吸収

(1)　**消化管**　口，食道，胃，小腸，大腸，こう門と続く食べ物の通り道を**消化管**という。➡❷

(2)　**消化**　口からとり入れた食べ物を，からだに吸収されやすい養分に変えるはたらきを**消化**という。

(3)　**消化液**　食べ物を消化するはたらきをもつ液を**消化液**といい，**だ液**や**胃液**などがある。

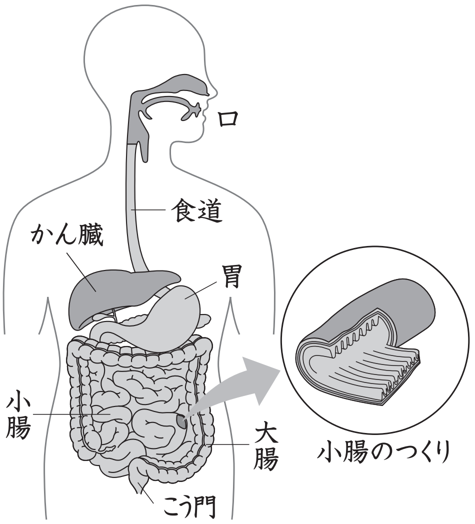
(4)　**吸収**　消化された養分をとり入れるはたらき。

①**小腸**　消化された養分は，水とともに主に小腸から吸収され，全身に運ばれる。小腸の内側はひだになっているため表面積が大きく，養分を効率よく吸収できる。

②**かん臓**　小腸で吸収された養分の一部はかん臓にたくわえられ，必要なときに出される。

③**大腸**　小腸で吸収されなかった物は大腸に送られ，水などが吸収されて，ふんとなる。ふんはこう門から出される。

❷人のからだのつくり

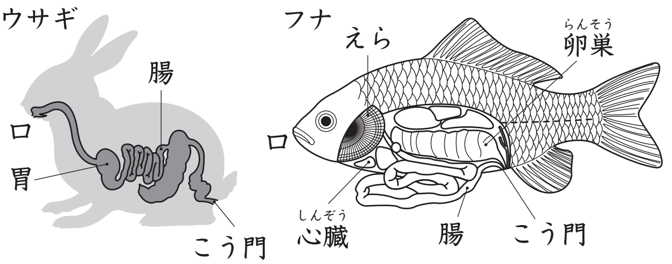


©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

3　いろいろな動物の消化管

動物の消化管も，人のように口からこう門までひと続きになっている。

▶いろいろな動物の消化管



(1)　**ウサギの消化管**

ウサギなどは，消化管のつくりが人とほとんど同じようになっている。

(2)　**フナの消化管**

フナなどは，胃・小腸・大腸の区別が人ほどはっきりしていない。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第４講・確認テスト

問１　ごはんつぶをもみ出した湯にだ液を入れ，ある温度にしてしばらく置き，だ液のはたらきについて調べました。何度ぐらいにしておくとよいですか。

①　約０℃　　②　約20℃　　③　約40℃　　④　約60℃

問２　問１の温度にしてしばらく置いたあと，うすいヨウ素液を加えました。ヨウ素液はどのようになりますか。

①　赤色に変化する。

②　青むらさき色に変化する。

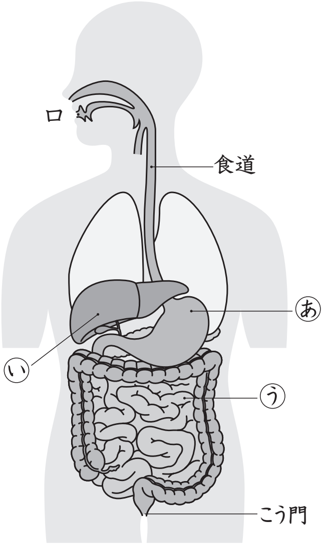
③　白くにごる。

④　うすい黄色のままで，変化は見られない。

問３　右の図は，人のからだのつくりを表したものです。あを何といいますか。

①　大腸　　②　胃

③　かん臓　　④　小腸



問４　右の図で，いを何といいますか。

①　大腸　　②　胃

③　かん臓　　④　小腸

問５　右の図で，うを何といいますか。

①　大腸　　②　胃

③　かん臓　　④　小腸

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第４講・確認テスト

問１　③

問２　④

問３　②

問４　③

問５　④

ⒸRECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。